

築地・銀座周辺まち歩き（後編）

建築家写真倶楽部の皆さんにご協力をいただきながら「写真」「建築写真」について連載しています。最終回の今号では、築地・銀座周辺まち歩きの後編、銀座で撮影した写真を紹介します。

7月5日、建築家写真倶楽部のメンバーでカメラ片手に東京・築地と銀座周辺を歩きました。築地周辺の様子は前号（『Bulletin』2019秋号（281号））でお伝えしましたので、今回は後編の銀座です。

建築家写真倶楽部にとって、銀座は思い入れのある場所です。発足して間もない2002年のアーキテクツガーデンでは、建築家写真倶楽部主催で、即日写真コンクール「銀座を撮る」を行いました。参加者は35mm ネガカラーフィルム1本を受け取り銀座をテーマに撮影。その日のうちにハガキサイズにプリントし、その中から自分でエントリー作品を提出。投票で人気ベスト5を選ぶ

まち歩き参加者：兼松紘一郎、秋山信行、大澤秀雄、藤本幸充、野中 茂

というものでした。会場には147枚の写真が整然と展示され、大いに盛り上がりました。写真倶楽部顧問を務めてくださっていた村井修さん、林昌二さん、メンバーでもあった吉村行雄さんも選定員としてご参加くださり、ギャラリートークも行いました。

その後の銀座ライオンで行った懇親会の案内板に「建築家初心倶楽部の皆様」と書かれていて、また盛り上がったのも懐かしいエピソードのひとつです。

それから早いもので16年。久しぶりに銀座の街を歩きました。写真とともに撮影者のコメントを掲載します。



■銀座四丁目交差点（2002年10月27日撮影）
2002年のアーキテクツガーデンでのイベント「銀座を撮る」の時に撮影。林昌二賞に選んでいただいた思い出の1枚。（秋山）



■GINZA PLACE
上の銀座四丁目交差点の写真の左の白い壁が日産ギャラリーです。3年ほど前に建物が建て替えられ、ギャラリーが「NISSAN CROSSING」となり、その間に、日本を代表するこの企業にも大きな変化がありました。（野中・秋山）

■あつま通りから銀座三越を見る
大きなビルの間を通り抜けて、車と人が行き交うこれも銀座。（兼松）



■金春湯
（金春ビル・銀座の銭湯）
銀座通りから一筋入った金春通り、昔は謔本・能専門の本屋さん「わんや書店」がありました。（野中・秋山）



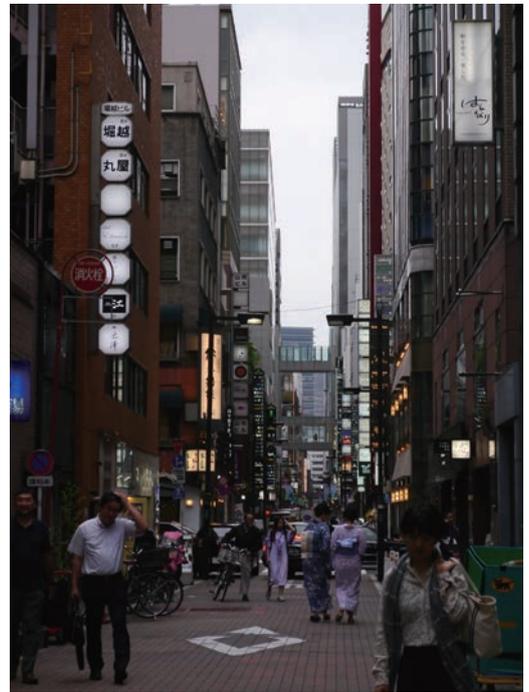
■銀座・久兵衛 高級寿司ビル

この金春通り辺りに、お蕎麦屋さん「よし田」があったと記憶しているのですが、どこに行ってしまったのでしょうか。(野中・秋山)



■石張りの電話ボックス

誰がお金を出したのだらうと気になりました。電話をかける人は仕上げなど気にしていないと思います。(野中)



■銀座八丁目

夕暮れ迫る八丁目、至福の時間が訪れるが我は無念！（兼松）



■銀座の路地1

街歩きの楽しさは路地巡りにあり。(大澤)



■銀座の路地2 (三原小路)

お稲荷さんの祠があります。路地の奥に見える、厚切りのフグ刺しを出す老舗「治郎長」。木質系の建物が銀座に残っているのは、歌舞伎座斜め前の足袋の大野屋とこの建物くらいかしら。不思議な世界です。それが銀座らしいところです。(野中・秋山)



■日暮れ後の銀座

やがて大通りを跨ぐ至福の時が来る。(兼松)



■銀座ライオン

とても活況で楽しい空間でした。海老フライがおいしかったのが、やけに印象深いです。(野中)



■サッポロピヤホールにて

街歩きの後の楽しみはコレ！兼松さん、長年お疲れさまでした。(大澤)